



市議会だより

No. 85
2026.5.1

かいいん

2月定例会

— 目次 —

意見交換会	2
予算	4
議案	8
審議結果	10
一般質問	12
所管事務調査	15

意見交換会を 開催しました

自治会（一部の地域）と
総務委員会（令和8年1月27日）

自治会運営上の 課題について

自治会役員の担い手と 負担について

委員 役員のなり手や負担についての現状や課題を聞かせていただきたい。

参加者 役員は選考委員会で選出することになっているが、なかなか難しい。定年延長などで長く働く人が多いことが、役員のなり手不足の1つの要因になっている。

参加者 区長等は、ボランティアなのに、重い責任を担わされるといつのが、引き受けて貰いにくい理由になっている。

参加者 区長の選定は、各区によって違い、輪番制のところもあるし、お願いに行き、受けてもらう場合もあるが、輪番制の方が受けとくれやすい。また、会計などでパソコン操作が出来ない場合は、前役員等がフォローしている。

自治会加入世帯数の 減少について

委員 自治会加入世帯数についての現状や課題を聞かせていただきたい。

参加者 当地域では、自治会に入るのが普通という雰囲気である。

参加者 若い人に参加してもらい、自治会を活性化し、なんとか少しでも少子化を止められないかと思う。

委員 皆様の地区では自治会の加入率も高く、行事にも多くの方が参加されているということだが、どのようにして参加を促しているのか。

参加者 道路等の掃除の後、みんなでゲートゴルフや懇親会をしたり、また、祭りなどをすることに、地域で一体感を保つようにしている。

委員 私たちの地区では、自治会へ入ってもメリットがないとよく言われるが、そういった声はないのか。

参加者 当地域では、ほとんどない。



総務委員会

海南市PTA連合会と教育厚生委員会（令和8年1月20日開催） 学習環境の現状と 課題について

SNS・インターネットの利用

委員 各家庭でのSNSやインターネットの利用に関するルールは、どのようなものがあるか。

参加者 子どもの自己管理に任せている。

参加者 ルールは決めていないが、宿題などやるべきことを終えた後に利用する分には問題ないと考えている。

参加者 利用する時間は決めており、スマホは大人の見えるところ（リビング等）に置くようにしている。

タブレット端末の活用

委員 タブレットを活用した学習について、子どもの様子は。

参加者 授業で使用しているタブレットを落としてしまい、キーボードと画面が外れかけた状態になっている。教員に相談したが、破損事例が多く、交換用が不足しているとのことであった。また、授

業中に授業と関係のない画面を開いたり、休憩中にゲームをしたりしているとの話を家庭訪問の際に聞いた。

参加者 タブレットを使用した宿題はほとんどなく、紙媒体の宿題が多い印象であり、十分に活用されていないと感じている。一方、自宅ではタブレットを使って絵を描いたり、学習用ゲーム「スクラッチ」を利用したりしている。

読書活動の推進

委員 各家庭での読書状況は。

参加者 習い事等により読書時間の確保が難しく、学校での読書時間に限られている。

参加者 学年が上がるにつれて読書量が減少しており、子どもに学校で本を借りない理由を尋ねたところ、「古くて汚れているため借りたくない」との意見であった。

参加者 読書の習慣を身につけさせるためのよい方法があれば教えてほしい。

委員 読書習慣の定着には、「読書は楽しいものだ」と子どもに伝えられる存在が必要である。

委員 子どもを読書へ導く時間やきっかけは非常に重要である。



教育厚生委員会

漆器組合と建設経済委員会 (令和8年1月27日) 海南の漆器産業の 現状について

参加者による紀州漆器産業の現状の認識について

参加者 漆器業界の将来はポジティブとは言いにくいですが、我々の取り組みが新しい発見につながり、僕らの力で何かできるきっかけになればいいと思う。

参加者 漆器離れが進んでいるため、これまでの既成概念ではなく

幅広く違うものに塗ってみるなど、残していくという活動をしている。

参加者 大量生産の時代ではなく、1つ1つに付加価値を付けて売る時代になっていると考えており、未来は明るいと思う。

参加者 皆がいろいろな製品を作っているが、手に取ってみてもらう場所が少ないので、そういうものを考えていただければと思う。

参加者 漆器は良いものであるが、右肩上がりになることはない。例えば、漆器の教室があつて漆などについて教える場所を作ることができればとも考えている。

参加者 非常に魅力的な産地であると思うが、売り方を変えていかねばならないと思うので、変化してやっていきたいと思う。

意見交換

参加者 漆器の塗料のごみや木地の灰について、以前は事業ごみとしてクリーンセンターで引き取ってくれたが、今は業者に処理費を払って引き取ってもらっている。これに対する対策や補助があればと思う。

委員 塗料のごみについて、サンプルをいただければ紀の海に見せに行つて話をしてほしいと思う。

参加者 漆器まつりについて、開催場所が大事だと思う。伝統工芸のこの場所、歴史を含めて興味を持っていただけるものだと思う。

委員 川端通りで漆器まつりをする。1日に短縮してでもここであればよいのではないかとと思う。

参加者 ふるさと納税をしていただく際に、何に使つて欲しいかの選択肢を増やし、漆器産業に関することも選択できるようにできないか。

委員 確かに、選択肢が少ないと思う。



建設経済委員会

2月
定例会

令和8年海南市議会2月定例会が2月26日から3月18日の21日の会期で開かれました。
この定例会には、市長から条例の改正や補正予算などの議案が提出され、全て可決しました。

もっと住みやすく 安全・安心で活力ある まちづくりを

2月定例会 令和8年度当初予算可決しました。

一般会計 | 286億4,452万円 (前年度比13.1%)

特別会計 | 148億1,262万5,000円 (前年度比3.8%)

会計名	当初予算	前年度比
国民健康保険特別会計	57億2,049万5,000円	前年度比 8.4%
後期高齢者医療特別会計	21億4,087万円	前年度比 6.1%
介護保険特別会計	69億466万3,000円	前年度比 △0.4%
赤坂地区排水処理事業特別会計	1,772万8,000円	前年度比 △1.6%
つづじヶ丘地区排水処理事業特別会計	1,816万円	前年度比 18.7%
港湾施設事業特別会計	1,070万9,000円	前年度比 △2.7%

企業会計 | 72億890万4,000円 (前年度比△7.3%)

会計名	当初予算	前年度比
水道事業会計	22億2,190万6,000円	前年度比 △23.1%
病院事業会計	49億8,699万8,000円	前年度比 2.1%

総 額 | 506億6,604万9,000円 (前年度比7.0%)



議案第21号

令和8年度海南市

一般会計予算

被災者支援システム整備事業

問 事業の概要について説明願う。

答 本事業は、和歌山県が事業実施主体となり、県下統一システムとして、モバイル端末を活用した住家被害認定調査や罹災証明発行、被災者台帳管理等の機能を有した総合的なシステムを構築しようとするものであり、その有用性等に鑑み、県に対し負担金を拠出する形で、導入をすすめて参りたい。

問 導入することで、期待される効果は。

答 同一のシステムを利用する県内自治体等からの業務支援が円滑になる。住家被害認定調査の際に、タブレット端末等を利用して、現地での調査結果の直接入力が可能となり、調査の効率化が図れる他、データが直接システムに連携されることで、罹災証明の発行までの流れがスムーズになることが期待される。また、一人ひと

りの被害状況や支援内容、配慮事項などを一つのデータベースで管理することが可能となり、支援の漏れなどを防ぐ効果も期待される。

●市立保育所及び子ども園運営事業

問 待機児童数は何人か。

答 令和8年度の待機児童は1歳児で16人発生する見込みである。

問 待機児童が急激に増えてきた要因について説明願う。

答 令和7年度は0歳児、1歳児とも前年に比べ申込者が多かった。0歳児を多く受け入れた影響が1歳児に出た。また令和8年度はさらに申込者が増え、令和7年度と比べ1歳児で18人増加した。令和7年度の0歳の園児がそのまま1歳児に持ち上がるため、新規枠が少なかったことが、待機児童が発生した要因である。

問 今後、申込者が増えた場合、施設の十分対応できるのか。

答 施設的には対応可能な園もあるが、待機児童解消に多くの1歳児を入れると、令和7年度の

0歳児が1歳児に持ち上がったように、今度は2歳児で待機児童が発生するといったことも考えられるため、慎重に対応していきたいと考えている。

●海南駅東土地区画整理事業

問 現在の進捗率は何か。

答 令和6年度末、30・1%に対し、本年度末において約80%の増となる約38・1%に到達できるものと見込んでいる。

問 ノビノス・駅・病院・大型店舗すべてが徒歩圏内であることは、海南市に人を呼び込むチャンスだと期待している。周辺まちづくりをどのように考えるか。

答 海南駅を核とする中心市街地一体におけるまちなか居住の促進に加え、商業など都市機能の充実により、良好かつ快適な住環境を確保するための極めて重要な事業であると認識している。今後事業を進めるにあたり、まちづくりとして、極めて重要な事業であることから、早期完成に向け、精力的に取り組んで参りたいと考えている。

●市民防災公園運営事業

問 市民防災公園の開園の見込みは立っているのか。

答 4月下旬の開園を予定し、準備を現在進めているところである。

問 確実に開園ができればよいが、5月、6月に開園がずれた場合、委託料を減額することはあり得るのか。

答 数カ月、遅延するようなことがあれば、そういうことも考えられる。

●学校空調設備整備事業

問 中学校3校の屋内運動場の空調設備ということだが、対象の学校は。

答 浸水区域以外の学校を優先し、その中で、クラブ活動で使用頻度の高い中学校を優先的に整備する。令和8年度の設計業務は亀川中学校・翼中学校・東海南中学校を予定している。

問 小学校に空調設備を入れなかった理由と中学校3校を先に空調設備を入れることについて説明願う。

答 この事業は児童生徒の部活動における熱中症リスクの軽減、また学校施設の避難所機能を強化し、耐災害性の向上を図る観点から避難所として指定されている屋内運動場の空調設備を整備するものである。津波浸水区域以外の体育館の中で、津波浸水区域により近い体育館を優先している。また利用頻度の観点から、クラブ活動での利用頻度が高い中学校を優先的に整備し、今年度は中学校の設計業務を実施し、その次に小学校の整備を考えている。

●学校給食事業

問 学校給食事業について、令和8年度に給食献立作成システムの導入とあるが、このシステムの導入に至った経緯について説明願う。

答 現在栄養士がエクセルを使って、日本食品標準成分表に基づき、献立の作成と栄養価の計算を行っており、ソフト導入と比較して時間等もかかるような状態である。これを踏まえ、従来の業務の効率化と、栄養士による食育の充実にも繋がるかと判断し、システ

ムの導入を決定した。

問 パソコン作業が苦手な職員も扱えるようなシステム設計になっているのか。

答 全国の栄養士の方が広く使っているシステムで、操作は比較的シンプルだと聞いている。今回の導入にあたり、ソフトウェアから導入の使用方法等の説明も含め予算計上しており、適切に行えるものと考えている。

議案第23号

令和8年度海南市

後期高齢者医療

特別会計予算

問 所得の負担割合について、1割負担、2割負担、3割負担の人が全体の中で、どれくらいの割合を占めているのか。

答 所得の負担割合について、県全体で令和8年度の平均被保険者数が約17万8,000人。このうち、1割負担の方が約13万8,000人、77・8%。2割負担の方が約3万人、17%。3割負担の方が約9,000人、5.2%となっている。また本市では、令和7年

議会での提言が
予算や事業方針に
反映されました！

地域公共交通協議会事業

5,435万円

デマンドタクシーを含め、地域公共交通の拡充に期待する地域の意見について、改めて調査・検討されたい。(令和6年度決算審査に係る意見書)

地域公共交通の拡充に関する地域への聞き取り調査や、コミュニティバス及びデマンドタクシーの利用実態などの調査を進める。



海南市コミュニティバス

室内温水プール運営事業

5,663万円

今後、修繕・更新に多額の費用が見込まれることから、適切な事業費の算出と計画的な財源の確保により、持続性のある運営に努められたい。(令和6年度決算審査に係る意見書)

引き続き、指定管理者との連携を密に、情報共有を図るとともに、専門業者による設備等の定期点検結果を確認するなどして、修繕や改修が必要となった場合には当該事業費の算出及び計画的な財源の確保を図り、適切な施設の運営に努める。

有害鳥獣対策事業

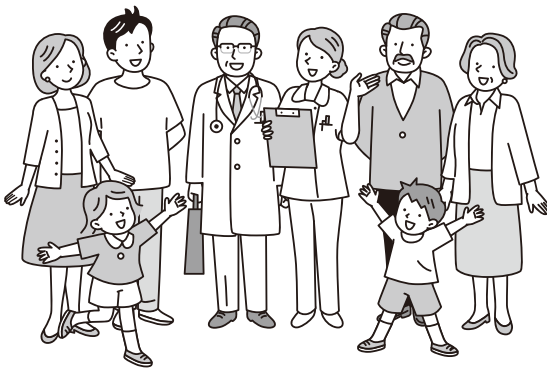
2,029万円

有害鳥獣の駆除がより効率的に行えるよう、猟友会による捕獲活動等の支援に一層取り組むとともに、防護柵設置の支援を継続し、被害の低減に努められたい。

有害野獣による農作物への被害を軽減するため、狩猟の魅力アップセミナーの開催や年間を通して捕獲報償金の支出を行うことで、若者や女性をはじめ新たな狩猟者の確保等に取り組むとともに、防護柵設置への支援等の各種施策を通して、引き続き有害鳥獣対策に取り組む。

- 12月時点で被保険者数が1万676人、1割負担の方が約8,000人、75・2%。2割負担の方が、約1,900人、18・3%。3割負担の方が約700人、6.5%となっている
- 問** 後期高齢者医療保険にも国民健康保険と同様に子ども・子育て支援金分がかかることについて説明願う。
- 答** 令和8年度より子ども・子育て支援金分が新たに追加され、保険料率は均等割額が1,385円。所得割率が0・25%。和歌山県全体で1人当たりの平均保険料が2,108円となっている。
- 議案第29号**
令和8年度海南市
病院事業会計予算
- 問** 診察を受けたときの診察料はアップできないのか。それによって収益が増えるのではないのか。独自で診察料の単価を上げられないのか。
- 答** 診察料などの診療報酬は基本的に2年度ごとの改定になり、令和8年度が報酬改定の時期にあたる。総論としては、

現在は物価や人件費が上がっている、引き上げという形になっている。しかし、施設基準には様々な要件が設定されており、適用される基準が下がることで、減収となるということも起こり得る。診療報酬は国で決まるものであり、私どもの方ではどうにもならない部分であるが、経営を考えた上で、効率的に施設基準等の報酬がいただけるよう、人員配置や医療サービスを提供しているところである。



会計について

Ⅰ一般会計

福祉・衛生・土木・教育などの地方公共団体の基本的な施策を行うため、市の基本的な収入と支出を総合的に管理する会計のことです。

Ⅱ特別会計

事業目的を限定して、一般会計とは別に経理する会計です。海南市には、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険など6つの特別会計があります。

Ⅲ企業会計

地方公営企業法に基づき、独立採算を原則として設置された会計です。一般会計等とは異なり民間企業と同様の経理を行います。海南市には水道事業と病院事業の2つの会計があります。

討論

○議案第21号

反対 多くの項目は市民にとって必要なもの。しかし予算には、子どもや若者の個人情報や自衛隊に提供するための国からの支援金が含まれているが、本人の了解無しに情報を提供することは法律違反に当たり、やってはいけない。また、自治体システムの標準化は市民のプライバシーを産業的に利用するのが目的であり、立ち止まって考え直すべき。(溝口 恵敬)

○議案第22号

反対 賦課限度額が引き上げられる。現行の109万円を110万円に。さらに「子ども分」3万円が上乗せされ、限度額は113万円にもなるため反対する。(岡 義明)

○議案第23号

反対 保険料は上がる一方なのに、さらに「子ども分」も加算され賛成できない。(岡 義明)

○議案第24号

反対 介護保険は、元々公費負担は国・県・市合わせ50%と限定され、構造的な欠陥制度で、介護サービスや訪問介護の報酬まで削られてきた。(岡 義明)

財政支援を受け地域を活性化

議案第1号 海南省過疎地域持続的発展計画の変更

こんな質疑がありました

問：財政上の特別措置について、過疎地域持続的発展計画に位置付けられた事業については、財政上の特別措置が講じられると認識しているが、制度の概要と本市における主な活用である。内容について、説明願う。

答：大きく3点の財政上の特別措置が受けられる。1点目は過疎対策事業債の活用であり、過疎地域持続的発展計画にある取り組みを対象として発行することができる地方債であり、充当率100%、元利償還金の70%は地方交付税措置される。対象事業については、道路や河川、産業及び観光振興施設、一般廃棄物処理施設、集会施設、保育所及びこども園、学校施設、図書館や文化振興施設等である。2点目は国庫補助率の嵩上げで、公立学校、保育所等に関する国の補助率が嵩上げされる。3点目は地方税の減収補填措置であり、過疎

地域内の産業振興を促進するための支援として、製造業、情報サービス業、農林水産物等販売業、旅館業の事業者が事業用に供する資産を取得する場合には、固定資産税の課税を3年間全額免除されるものであり、市に対して減収分の75%が地方交付税で補填される。

問：季節労働者を下津へ迎え入れるために、現状はどうなっているのか把握しているか。また、廃校等を宿泊施設として活用し、季節労働者を受け入れる事業を計画に位置付けてはどうか。

答：JAとの協議や農家の皆さんからの情報は把握している。計画への反映については、実態を改めて確認した上で考慮して参りたい。

すべての子どもの育ちを応援

議案第2号 海南省特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

こんな質疑がありました

問：誰でも通園制度の令和7年度実績と、令和6年度からの改善点があったかを確認したい。

答：令和8年1月末で利用認定した子どもは20人、保護者は15人、利用回数は17回である。改善点としては、予約管理機能を持った総合支援システム導入し、利用者はスマートフォンで空き枠の検索等が可能となった。

問：今回の条例は、令和7年2月議会で可決した条例とどう違うのか。

答：令和8年度から給付事業化され、事業者は認可基準条例に加え、今回は市町村が定める運営基準遵守が必要となるため制定する。

問：本市における実施園は五月山子ども園だけであるが、市外の実施園や里帰り出産時において本制度を利用するには。

答：制度を利用するためには、対象となる子どもの保護者は、事前に住民票のある市町村に乳児等のための支援給付に関する認定の申請が必要となる。この認定を受けた方であれば、他の自治体で実施されている園等に申し込みし、利用することが可能となる。里帰り出産時では、本市に住民票を置いたまま他市に帰郷された場合、認定の申請窓口が本市となる。

財産を適切に管理・運用

議案第6号 財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例

こんな質疑がありました

問：買い手のない市有地の売却促進のため、譲渡価格を減額できるようにする条例だが、時間が経てば安くなるというような認識が広がることで、購入を先延ばしするような可能性が出てくるのではないかと懸念するが、早期の売却を促す仕組みはどのように考えているのか。

答：財産を入札に付していることを広く知っていただくことが、重要であると考えており、認知促進に重点を置く観点から、新聞折り込みを行った結果、問い合わせが増加したことから引き続き、そのような認知度を高めていく取り組みを進めていきたい。

問：数年経って売れなければ、価格を下げることは賛成するが、さらに待つともっと安くなると考えられる。適正な価格で売れるように検討する仕組みはあるのか。

答：長期にわたって売れ残ることが課題。その間、市の管理費用等がかかり、固定資産税も入らない。さまざまなことを検討する中で、適正な売却価格を検討していく手続きになっている。



安定した国民健康保険運営を維持

議案第9号 海南市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

こんな質疑がありました

問：改正で保険税がどの程度増減するか、単身世帯や標準的世帯など具体例で影響額を示してほしい。

答：単身世帯で年金収入のみ、所得が0円の世帯の場合では、医療分が700円増、子供分が500円増、合わせて1,200円の増額となる。40代夫婦と小学生子供1人の3人世帯で所得が200万円の世帯の場合では、医療分が4,000円増、後期分が1,600円の減、子供分が7,200円増、合わせて9,600円の増額となる。



問：本来、国は子育て支援を税の再分配を通じて行うべきで、国民健康保険や後期高齢者医療保険などの健康保険からお金を取り出して、子ども・子育て支援に使うのは間違っている。以前、岸田総理は「子ども・子育て支援で、実質的な国民負担は増やさない」と述べているが、現状では国民負担が増えることになると思うがどうか。

答：以前の岸田総理の答弁の「実質的な負担を増やさない。」という部分は、社会保障の歳出改革を行い、社会保険料の負担を軽減させるため、支援金による負担は相殺される仕組みとなるという趣旨であると思われる。子ども・子育て支援分は、令和6年に子育て支援法の一部改正が成立し、支援金の徴収について、医療保険から徴収することは規定されており、この医療保険に上乗せして徴収することは当初の制度設計通りと理解している。

議案の審議結果

◎…全会一致で承認、可決、同意 ○…賛成多数で可決

2月定例会

議案番号	議案	結果
議案第1号	海南省過疎地域持続的発展計画の変更	◎
議案第2号	海南省特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	◎
議案第3号	海南省行政手続条例の一部を改正する条例	◎
議案第4号	海南省職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例	◎
議案第5号	海南省職員給与条例等の一部を改正する条例	◎
議案第6号	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例	◎
議案第7号	海南省地域振興基金条例を廃止する条例	◎
議案第8号	海南省ゲートボール場条例を廃止する条例	◎
議案第9号	海南省国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○
議案第10号	海南省介護保険条例の一部を改正する条例	◎
議案第11号	海南省民農園条例を廃止する条例	◎
議案第12号	海南省営住宅条例の一部を改正する条例	◎
議案第13号	海南省水道事業の設置等に関する条例の一部を改正	◎
議案第14号	海南省病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	◎
議案第15号	海南省消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	◎
議案第16号	海南省火災予防条例の一部を改正する条例	◎
議案第17号	令和7年度海南省一般会計補正予算（第8号）	◎
議案第18号	令和7年度海南省国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	◎
議案第19号	令和7年度海南省介護保険特別会計補正予算（第3号）	◎
議案第20号	令和7年度海南省病院事業会計補正予算（第2号）	◎
議案第21号	令和8年度海南省一般会計予算	○
議案第22号	令和8年度海南省国民健康保険特別会計予算	○
議案第23号	令和8年度海南省後期高齢者医療特別会計予算	○
議案第24号	令和8年度海南省介護保険特別会計予算	○
議案第25号	令和8年度海南省赤坂地区排水処理事業特別会計予算	◎
議案第26号	令和8年度海南省つつじヶ丘地区排水処理事業特別会計予算	◎
議案第27号	令和8年度海南省港湾施設事業特別会計予算	◎
議案第28号	令和8年度海南省水道事業会計予算	◎
議案第29号	令和8年度海南省病院事業会計予算	◎
議案第30号	海南省教育委員会教育長任命の同意	◎
議案第31号	海南省教育委員会委員任命の同意	◎
議案第32号	海南省固定資産評価審査委員会委員選任の同意	◎
議案第33号	海南省固定資産評価審査委員会委員選任の同意	◎
議案第34号	海南省固定資産評価審査委員会委員選任の同意	◎
議案第35号	海南省固定資産評価審査委員会委員選任の同意	◎
議案第36号	海南省固定資産評価審査委員会委員選任の同意	◎
議案第37号	海南省固定資産評価審査委員会委員選任の同意	◎
議案第38号	和解に伴う損害賠償額	◎
議案第39号	令和7年度海南省病院事業会計補正予算（第3号）	◎

意見交換会

予算

議案

審議結果

一般質問

所管事務調査

議案第1、2号 関連記事8ページ 議案第3号 行政手続法の改正に準じ、聴聞の通知の方式について見直しを行うもの
 議案第4号 既存の部分休業制度に加え、子育て部分休暇を新設追加するもの 議案第5号 一般職の職員の給与に関する法律の改正に準じ、第2種初任給調整手当を新設するとともに、駐車場手当等の通勤手当の改正を行うもの 議案第6号 関連記事9ページ
 議案第7号 海南市地域振興基金を廃止し、海南市地域づくり推進基金に統合するもの 議案第8号 海南市ゲートボール場を廃止しようとするもの 議案第9号 関連記事9ページ 議案第10号 介護保険法施行令の改正に伴い、令和8年度の保険料率の算定に関する所得の額の算定方法等の特例を設けるもの 議案第11号 海南市民農園を廃止しようとするもの 議案第12号 冷水住宅の一部と新生寮を廃止しようとするもの 議案第13、14号 地方自治法の改正に伴い、所要の規定の整備を行うもの 議案第15号 「非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令」の改正に伴い、非常勤消防団員等に対する損害補償に係る補償基礎額を改定しようとするもの 議案第16号 「対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令」の改正に伴い、簡易サウナ設備の位置、構造及び管理の基準を定めるほか、住宅の電気火災予防を推進するため所要の改正を行うもの 議案第17号 総額4億7,979万6千円の増額補正 議案第18号 総額1億592万9千円の増額補正 議案第19号 総額1,815万9千円の増額補正 議案第20号 病院事業収益 33,470千円の増額補正、病院事業費用 121,940千円の増額補正
 議案第21～29号 関連記事4～7ページ 議案第30号 教育委員会教育長が令和8年5月19日をもって任期満了となるので、その後任者として再度同氏を任命するため、同意を求めるもの 議案第31号 教育委員会委員が令和8年5月19日をもって任期満了となるので、その後任者として再度同氏を任命するため、同意を求めるもの 議案第32～37号 固定資産評価審査委員会委員が令和8年5月22日をもって任期満了となるので、その後任者として再度同氏を選任するため、同意を求めるもの 議案第38号 海南医療センターにおける損害賠償請求事案に関し、和解に伴う損害賠償額を定めるもの 議案第39号 和解に伴う賠償額を支払うにあたり、収益的収入および支出において、それぞれ補正するもの

賛否の分かれた議案等

○…賛成 ×…反対

議案番号	会派・議員名		公明党		日本共産党 海南市議会 議員団		無所属の会・日 本維新の会		市政 クラブ		市民クラブ						自由 クラブ		結 果
	中家 悦生	森下 貴史	岡 義明	溝口 恵敬	古田 充司	熊野 愛子	栗本 量生	宮本 憲治	川崎 一樹	榊原 徳昭	田村 秀明	米原 耕司	池原 弘貴	杉本 博美	橋爪 大輔	川口 政夫	東方 貴子		
議案第9号	○	○	×	×	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第21号	○	○	×	×	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第22号	○	○	×	×	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第23号	○	○	×	×	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第24号	○	○	×	×	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

●議長は賛否に加わることができません。ただし、賛否同数の場合は、議案の可決・否決を決めることができる「裁決権」が認められています。

討 論

○議案第9号

賛成

1月に開催された国民健康保険運営協議会には議会から5名が委員として出席し、市長の諮問を受け、当局からの説明に対し質疑応答を行った。各市町村による国保運営が厳しくなる中、今後、運営を県に一本化する方向で進められており、国民健康保険運営協議会から附帯意見もつけて答申を行った経緯があり、賛成する。

(中家 悦生)

○議案第9号

反対

国の少子化対策の財源として「子ども・子育て支援納付金」を国保税に上乗せするものだ。「子育て支援」に名を借りた増税に他ならない。

(岡 義明)

一般質問

一般質問とは、議員が市民の代表として、市の行政全般に対し、現在の状況や将来の方針等を質問したり、提言することで、政策の見直しなども行われます。2月定例会では、4人の議員が一般質問を行いました。



1 森下 貴史 (13ページ)

◎ENEOS和歌山製造所について

2 東方 貴子 (13ページ)

◎物価高対策として実施されたプレミアムクーポン券事業の検証と今後の在り方について

- 投票所入場券送付手続きについて
- 市有財産と情報資産の適正管理と有効活用について

3 溝口 恵敬 (14ページ)

◎こども計画について

4 岡 義明 (14ページ)

◎埋もれている特別障害者手当受給資格者について



ごまごまが聞きたい!! 4人が市政を問う

※ ◎の質問の概要を掲載しています。

環境・安全・防災等、市の関りは

● 必要に応じ ENEOS に、その対応を求めて参りたい



録画映像



森下 貴史

問 SAF事業の今後の具体的なスケジュール、SAF製造にあたって心配される、周辺地域の環境への影響や防災・安全対策等の、具体的な検討が進められているか。

答 SAF事業については、その実現に向け、基本設計に着手したところである。

具体的な製造体制や規模、コストや、今後のスケジュールをはじめ、周辺地域への環境面や安全面なども含め、検討が進められている。跡地活用については、ENEOSが主体的に取り組みを進めていくものであるが、地域住民、地域経済の発展の観点から、市として、どのように関わっていく考えか。

答 ENEOSの跡地活用は、地域経済の発展、地域振興か

ら、非常に重要な課題である。製油所機能停止の発表直後は、雇用の維持・市内の関連企業への影響も心配したが、本市を含めENEOS・国・県・有田市で構成する検討会での協議を経て、方向性を見出し、雇用も一定維持されている。今後も、検討会を通し、地域経済・地域振興につながる事業の早期具体化・実現に向け、また、地域の方々の安全・安心を引き続き確保していく観点から、有田市、国とも連携し、必要に応じENEOSに、その対応を求めて参る。

※SAF：廃食用油や動植物由来の油、木質バイオマスなどを原料にして作る、二酸化炭素排出量の削減をめざした次世代のジェット燃料のこと

地域限定券の未使用率は

● 把握していない



録画映像



東方 貴子

問 物価高対策として全市民に一人当たり13,000円のプレミアムクーポン券が発行される。半分は全店舗で、半分は地元店舗限定券であることを私の広報誌でお知らせしたところ、電話やメール、またお一人からハガキをいただいた。

「年金生活者だが、肌着等生活に必要なものは大型店舗が中心となり、身近に小売店は少なくなつた。他市のように現金給付にしてほしかった」との内容だった。やむにやまれぬ思いの市民の声と感じる。このクーポン券のうち、地元限定券を扱う店舗数は何件か。また、地元限定券の未使用率は何か。

答 令和4年が43件で未使用率3%。5年が416件で3.5%。6年が405件で4.4%である。

問 地元限定券取扱店舗はかなり減少している。未使用率は全体の数値とのことだが、地元店舗限定券のみの未使用率は。

答 把握していない。

問 把握していないのは今後の制度設計検討の上でも課題である。今回の事業について、未使用率把握や市民の声を踏まえ、具体的な検証はされるのか。

答 利用終了予定の10月31日以降にアンケートを実施するなど、市民の皆様がより利用しやすい取り組みを進める。





溝口 恵敬



録画映像

自己実現・主権者の育成を目指し、新しい取り組みが必要ではないか

●意見を言いやすい場を作るなど、こども計画策定に向け取り組む

問 こどもの権利条約やこども大綱では、社会の仕組みを変えていこうとしていると思える。市の考えはどうか。

答 より子どもや若者に寄り添い、まことに子どもを守り育むまちづくりを進めていきたい。

問 全ての子どもたちが考えを持てるよう指導していくべきではないか。

答 意見を出しにくい子どももいる。来年度、一部の中学1・2年生にアンケートをするなど、意見を聞いていきたい。

問 アンケートだけでは不十分である。自己実現・主権者の育成を目指し、みんなが子どもに関するあらゆることに考えを持てるようにするために、全く新しい取り組みが必要ではないか。

答 未決定だが、SNSの活用などで、意見を言いやすい場を設けられればと考えている。

問 国連子どもの権利委員会の勧告で、日本の子どもたちがあまりにストレスフルな環境に置かれているとされている。市の考えは、

答 現在持ち合わせているものは無い。解決していくためには当たり前どころから見直す必要がある。その意味で社会が変わる必要がある。市が先導してやらなければならないと思うがどうか。

答 十分検討し、こども計画の策定に向けて取り組んでいく。



介護度の高い人などに、特別障害者手当制度の情報を提供すべき

●相手が誤解を生む場合がある、支援体制の強化が重要



岡 義明



録画映像

問 近年の特別障害者手当の申請状況と受給者数の推移はどうか。

答 申請状況は毎年4から9件程度あり、受給者数は令和7年12月末日で42名である。受給者数の推移は令和4年度53名、令和5年度49名、令和6年度41名である。

問 42名の受給者数ということだが評価はどうか。

答 以前に比べ、ケアマネジャーや社会福祉協議会など多方面からの申請が見られ、周知効果は出ていると評価している。

問 周知効果がでていないというが、給付対象者にはまだまだ届いていないと思うがどうか。

答 少しずつ申請数が増えているが、他自治体などで「手当

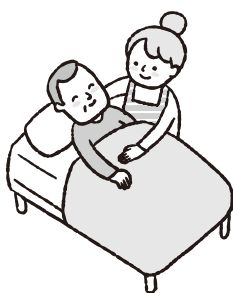
取得に至った事例」などを参考にし、ケアマネジャーに示して理解を深めていただき、申請につなげたいと考えている。

問 介護度の高い方や身障者手帳1級などの方に、「特別障害者手当」制度の情報を提供すべきではないか。

答 相手が誤解を生む場合が想定されるため、ケアマネジャーの支援体制の強化が重要と考える。

問 医師の判断も重要であるがどうか。

答 医師会を通じ、制度説明の機会を考



所管事務調査

■教育厚生委員会

令和8年3月9日(月)に「公民館活動について」の調査を行いました。

問 現在の公民館活動には若者層向けのものが少ないと感じる。例えば、調理室を貸し出し、地域の方々が実際にお店を出すようなイベントを開催することができれば、幅広い年齢層を呼び込むことができると思うが、そのような新しい取り組みはあるのか。



お菓子サークル



パン教室

答 現在、公民館では、調理室を活用し、パンづくりや味噌づくり、郷土料理教室など、家庭で役立つ内容の講座が行われているが、委員ご発言のような取り組みは行われていない状況である。今後、委員のご提案をふまえ、幅広い年齢層の方々に呼び込むことができるような取り組みについて、調査・研究を行うて参りたいと考えている。

問 利用者の固定化が課題となっている中で、今後どのように裾野を広げていこうと考えているのか。

答 今後、たくさんの方々へ公民館を利用して頂けるよう、先進的な事例や取り組みを調査・研究し、魅力的な講座づくりに努めて参りたいと考えている。

市議会ホームページ

ホームページでは、市議会の日程や議案などの情報を掲載しています。また、会議録を閲覧いただけるほか、本会議の生中継や委員会の録画映像の配信(休日を除き約10日後から)もありますので、ぜひご利用ください。

市議会だよりへのご意見をお聞かせください

より良い紙面とするため、市議会だよりに関する皆さま方のご意見等をお寄せください。

5月臨時会・6月定例会の予定

市議会の定例会は年4回開催されますが、**今年度は市議会議員選挙をうけて5月14日(木)に臨時会を開催します。6月定例会は6月11日(木)に開会する予定です。**

市議会では、市民の皆さまの生活に密着したさまざまな問題が審議されています。市政を知る機会にもなりますので、ぜひ気軽に傍聴にお越しください。

なお、日程は変更することがありますので、傍聴を希望される場合や本会議の生中継をご覧になる場合は、お手数ですが議会事務局まで日時をお問い合わせください。

海南市議会事務局

〒642-8501 海南市南赤坂11番地
TEL/073-483-8700 FAX/073-483-8703
Eメール/gikaij@city.kainan.lg.jp
HP/https://www.city.kainan.lg.jp/kakubusho/gikaijimukyoku/index.html



ホームページ
二次元コード



Facebook
二次元コード





校旗授与

海南市立東海南小学校が開校

南野上小学校及び中野上小学校の統合に伴い、新しく「海南市立東海南小学校」が開校する運びとなり、4月6日、東海南小学校体育館で開校式が行われました。

式場には、新しい校歌を歌う児童の元気な声が響き渡り、新たな一歩が始まりました。



校歌作詞作曲者表彰

海南・海草議会議員連絡協議会研修会開催



和歌山県果樹試験場

海南市・紀美野町の全議員で構成する海南・海草議会議員連絡協議会では、「海南・海草地域の活性化と地域づくり」を運動目標に掲げ、広域的な課題について調査・研究を行うべく活動しています。

令和7年度は、1月22日に和歌山県果樹試験場に訪問し、和歌山県職員から「果樹（カンキツ）の高温対策について」、「果樹（カンキツ）の病害虫対策について」、「鳥獣被害（シカ）について」、「クビアカツヤカミキリ被害について」の研修を受けました。